

平成24年度施政方針と

当初予算

平成24年度は、未曾有の被害をもたらした東日本大震災、かつてない急激な円高など現下の経済情勢等を踏まえ、「共創のまちづくり」の理念の下、引き続き「人づくり」を中心に、重点分野を「子育て・教育」「雇用・産業」「地域」3分野として、特に人と人との「絆」、地域の「連携」、資源の「循環」などの「つながり」を視点に施策を展開し、第5次白鷹町総合計画の実現に向けた歩みを着実に進め、「笑顔かがやき 心かよう 美しいまち」を目指してまいります。

主な事業といたしましては、子育て支援拠点施設整備事業や、中学校統合に向けた準備をはじめとして、小児インフルエンザワクチン接種事業の創設、産業センターを拠点とした農工商観の連携、6次産業化支援事業など、子育て支援や教育の充実、産業の振興に結びつく施策への積極的な展開を図っていくほか、住民の方々が主体的に取り組む地域づくりの支援や健康増進計画の策定、東陽の里ブランド改修事業など、誰もが健康で安心して暮らせるまちづくりにも力を注いでまいります。さらに、エネルギープロジェクト事業の創設や公共施設の耐震診断、庁舎等の行政機能強化を目的とした施設再配置計画策定など、震災以降の新たな課題に対応するための施策を行ってまいります。今年度は、第5次白鷹町総合計画における前期基本計画の中間年度として、今後につなぐ重要な時期にもなることから、改めて、町民の皆さまと共に創りあげる「共創のまちづくり」の理念に立ち、安心安全なくらしを第一として、生活福祉の向上、さらには次代につなぐまちづくりとしての諸施策の実現に向け、全力を傾注してまいりますので、町民の皆さまのご協力を賜りますようお願いいたします。

白鷹町長 佐藤 誠七

施策の概要

1. 子育て・教育

◆子育ての充実

○子どものための手当支給事業やニコニコマタニティライフ応援事業、特定不妊治療費助成事業、乳児から中学生までを対象に医療費の自己負担額を助成する、しらか元気づ子事業を継続します。

○新たに「小児インフルエンザワクチン接種事業」を創設し、引き続き子どもを産み育てやすい環境づくりに努めます。

○こぐわ・あゆかい保育園を統合する新たな保育園と子育て支援センター、放課後児童クラブを整備する「子育て支援拠点施設整備事業」に取り組み、平成25年4月の開所を目指します。

◆学校教育の充実

○学校生活支援員を配置し、集団生活の不適応児童生徒や特別支援教育が必要な児童生徒への対応など、きめこまやかな教育の充実を図ります。

○蚕桑小学校の暖房設備整備事業をはじめとする施設整備、残る小学校校舎の耐震診断の実施や各校に防犯カメラを設置するなど、安心・安全な学校環境づくりに努めます。

○統合中学校については、平成27年度開校に向け、中学校統合準備委員会において教育効果を高めるための環境整備や学校生活に関する事項を検討し、準備を進めます。

○学校給食は、食育の一環としても重要な役割を担っており、引き続き安全で安心な学校給食を提供します。

○荒砥高校については、平成25年度からのキャンパス制導入と総合学科改編に向けた活動支援を行います。さらに、魅力ある学校づくりの一環として、福祉関係の資格取得支援のための養成講座を開催します。

2. 雇用・産業

◆農業の振興

○中山間地域等直接支払推進事業、農地・水・農村環境保全向上対策事業も継続して取り組み、農地の維持保全を図ります。